

「個々の実態把握をもとにした抽出（取り出し）の授業」

自立活動担当による校内抽出（取り出し）授業

本校の幼児児童生徒の実態をもとに、抽出授業の中で取り組む学習内容・目標等を相談し、授業内容を設定、実施する（各幼児児童生徒 週1回設定）
【小学部8名 中学部2名 高等部2名 + 校内巡回指導・支援】

【授業に向けたアセスメント】（実態把握）
・本校作成 キャリア教育個人チェックシート
・自作の発達段階表＜言葉、数、身体＞
・専門家（OT、PT、ST等）の助言
・発達検査の数値、授業参観 等

○自立活動の項目の設定
○指導内容、学習課題、教材教具等の設定



身体学習、手指、コミュニケーション
ビジョントレーニング、数、言語、SST
スヌーズレールームの活用 など

自作の発達段階表 ＜言葉、数、身体＞

発達・コミュニケーション		発達・数	発達・身体
1. 10以内で数を読み取る	2. 10以内で数を読み取る	1. 10以内で数を読み取る	1. 10以内で数を読み取る
2. 10以内で数を読み取る	2. 10以内で数を読み取る	2. 10以内で数を読み取る	2. 10以内で数を読み取る
3. 10以内で数を読み取る	3. 10以内で数を読み取る	3. 10以内で数を読み取る	3. 10以内で数を読み取る
4. 10以内で数を読み取る	4. 10以内で数を読み取る	4. 10以内で数を読み取る	4. 10以内で数を読み取る
5. 10以内で数を読み取る	5. 10以内で数を読み取る	5. 10以内で数を読み取る	5. 10以内で数を読み取る
6. 10以内で数を読み取る	6. 10以内で数を読み取る	6. 10以内で数を読み取る	6. 10以内で数を読み取る
7. 10以内で数を読み取る	7. 10以内で数を読み取る	7. 10以内で数を読み取る	7. 10以内で数を読み取る
8. 10以内で数を読み取る	8. 10以内で数を読み取る	8. 10以内で数を読み取る	8. 10以内で数を読み取る
9. 10以内で数を読み取る	9. 10以内で数を読み取る	9. 10以内で数を読み取る	9. 10以内で数を読み取る
10. 10以内で数を読み取る	10. 10以内で数を読み取る	10. 10以内で数を読み取る	10. 10以内で数を読み取る

実践の成果と課題

【成果】

- ・アセスメント資料や授業参観等で実態把握を行い、担任や保護者の希望も確認した上で、個々の実態に合わせた抽出の授業を行うことができた。
- ・オープンスクール等で、保護者にも授業の様子を見てもらい、情報を共有することができた。

【課題】

- ・各学部、各担任との情報交換・連携をさらに進め、担任が行う授業にも生かしてもらおう。
- ・アセスメント（実態把握）について、さらなる改善、学校全体としてのシステム化が必要である。

実践の中で自分が学んだこと

1. アセスメント（実態把握）の重要性

2. さらなる専門性の向上

自立活動、人の発達段階、身体、感覚、発達段階に応じた学習課題・教材教具、発達障害、脳科学、不適応行動への対応、子どもへの対応、環境設定、他

3. 学校全体としてのアセスメントシステムをいかに構築していくか

実践活動の今後に向けて

1. 自立活動担当として、幅広く特別支援教育についての専門性をさらに高める
2. 自立活動担当の抽出授業で取り組んだことを、担任と共有し、授業に生かしてもらう
3. 個々の実態を的確に把握できるよう、アセスメントに関する資料、チェックシート等をさらに充実させる
4. 市内小中学校の特別支援学級の先生方を中心に、実践したものを紹介し、活用してもらう

地域支援づくりへの提案

1. 小中学校における定期的なアセスメントを活用した児童生徒の支援システムの確立
 - (1) 小中学校：4月当初、学期ごと、年度末 など
 - ・学習の定着度、LD傾向（書字、計算等）
 - ・他害行動、コミュニケーション、手先の不器用さ
 - ・発達障害の特性別チェックシート
 - (2) 特別支援学級：発達段階による学習アセスメント
 - ・アセスメントをもとにした学習内容、教材教具等の設定
2. 1の支援システムを活用した定期的な市内コーディネーター会議
 - ・小中学校、特別支援学校のコーディネーター、エリアコーディネーター、教育委員会等 参加
3. 小中学校を定期的・計画的に回る巡回相談のシステムの構築
 - ・授業や子どもの対応、教材・教具の紹介 など